

平成28年度第4回東広島市入札監視委員会会議概要

1 会議名

平成28年度第4回入札監視委員会

2 開催日時・場所

平成29年2月21日（火） 午前10時から午前11時20分まで
東広島市役所本館4階 入札室

3 出席委員

横山委員、岩元委員、早川委員、宮本委員

4 出席職員

総務部長、総務部技術調整監、建設部次長兼維持課長、都市部都市整備課長、
都市部営繕課長、事務局員

5 会議の概要

(1) 入札及び契約手続に係る運用状況の報告について

次の事項について、事務局から説明を行った。

ア 入札方式別発注工事の状況

イ 指名除外措置の運用状況

(2) 検証対象工事の検証について

次の検証対象工事について、入札参加資格要件、工事概要等を事務局及び施工担当課から説明を行った。

ア 平成28年度 街路整備事業 西条中央巡回線(助実・円城寺工区)道路舗装工事

イ 小学校新設事業（仮称）寺西第二小学校屋内運動場新築工事（建築）

ウ 平成28年度 道路舗装事業、農道維持修繕事業 黒瀬地区道路舗装工事

エ 平成28年度 道路舗装事業 下見中郷線道路舗装工事

オ 平成28年度 河川維持修繕事業 西山川河川修繕工事その2

(3) その他

次のとおり決定した。

ア 次回委員会の開催について

平成29年度第1回委員会の開催は平成29年5月の予定とし、後日調整を行うことに決定した。

イ 次回の検証工事抽出委員について

次回の抽出は早川委員が行うことに決定した。

6 発言の内容

(1) 入札及び契約手続に係る運用状況の報告について

発言者	内容
委員	別の事案でありながら指名除外の始期が一致しているものがありますが、これらに関連性はあるのですか。
事務局	指名除外措置は、入札に参加できない重い処分であるため、恣意的にならないよう期間の始期に法則性を持たせています。
委員	今回の報告では随意契約が多い印象を受けますが、この背景について教えてください。
事務局	今年度随意契約による工事は、70件以上あり、災害が多発したためそのほとんどが災害復旧工事です。
委員	入札参加者が1者で落札率100%という工事が2件ありました。これについて、注視すべき点はありますか。
事務局	特に不適切な点は見受けられませんでした。

(2) 検証対象工事の検証について

ア 平成28年度 街路整備事業 西条中央巡回線(助実・円城寺工区)道路舗装工事

発言者	内容
委員	入札参加者が17者で落札率も87.7%と競争性が働いたものの最低制限価格未滿の入札者はいなかったのは、どのようなことが考えられますか。
事務局	最低制限価格基準価格に乗じるランダム係数が低かったためと思われる。
委員	この工事の入札参加17者の入札金額は2,600万円台で、各者の差は10万円ぐらいです。そのうち上位の6者ぐらいまででは、3万円ぐらいの差となっていますが、工事内容によっては、正確な積算ができるのですか。
事務局	この工事にかかわらず、積算能力があれば予定価格や最低制限価格基準価格は算定できます。最低制限価格基準価格に乗じるランダム係数も0から0.5%の範囲であることを公表していますので、ランダム係数も考慮の上入札されていると思われます。
委員	くじにより落札者が決まっていますが、くじはどのように実施しているのですか。
事務局	電子入札であるため電子くじとなります。入札者は、入札時に任意の3桁の数字を登録します。くじでは、自らが選択した数字も決定の過程に使用されるなど、恣意性が働かないようになっています。

イ 小学校新設事業（仮称）寺西第二小学校屋内運動場新築工事（建築）

発言者	内容
委員	この工事の落札額は、予定価格より4,000万円ほど下回っていますが、これについては、どのようなことが考えられますか。
事務局	建築工事は、民間の需要が非常に多かったために入札不調の傾向にあり、落札率も高止まりしていました。 その対策として入札参加条件を緩和するなどしていましたが、この工事では、複数の応札があったことから競争性が生まれたと考えています。

ウ 平成28年度 道路舗装事業、農道維持修繕事業 黒瀬地区道路舗装工事

発言者	内容
委員	この工事は、複数箇所の工事を1つの工事として11月に発注していますが、その理由を教えてください。
事務局	小規模の工事をそれぞれ分けて発注しますと、発注者と受注者双方にコストがかかります。そのため、ある程度にまとめて適切な時期に発注をしました。
委員	落札率が88.4%で、入札者の多くが最低制限価格未満の入札となっていますが、この理由について説明してください。
事務局	舗装工事は、応札者が多く人気の高い工事ということもありますが、ランダム係数がやや高くなったことが主な要因です。

エ 平成28年度 道路舗装事業 下見中郷線道路舗装工事

発言者	内容
委員	先ほどの舗装工事でもこの工事でも落札率がほかの工事に比べて低くなっていますが、舗装工事ではこのような傾向があるのですか。
事務局	舗装工事は、応札者が多いこともあり落札率が低くなる傾向にあります。

オ 平成28年度 河川維持修繕事業 西山川河川修繕工事その2

発言者	内容
委員	特命随意契約では、予定価格を事後公表にしているということですが、河川修繕工事であっても落札率が99.8%となるのは、一般的なのですか。
事務局	仕様書をもとに適正に積算されれば、予定価格は算出されますので、作為的なことはないと思われます。
委員	特命随意契約では、予定価格を事前に通知しないとありましたが、見積金額が予定価格を上回ることもありうると思われませんが、その場合は、予定価格と見積価格のどちらを採るのですか。

事務局	予定価格を事前に通知しない場合、見積価格が予定価格を上回った場合には、再度見積ということになります。3回まで見積書の提出を行えることにしています。
委員	入札不調になったことで工事の着手が遅れ時間的なロスが生じていますが、このことで緊急性が生じ随意契約となるのであれば、地域の安全に対応するために、最初から随意契約で発注すればよいのではないですか。
事務局	入札に付すことを原則としていますが、案件ごと状況に応じた発注方法を検討し、やむを得ない理由があるときには、随意契約で発注する体制にしています。